



令和8年1月27日
幼保連携型認定こども園
広野保育園 No.18

今年は2月4日が立春です。暦の上では春を迎える時期とされていますが、これから2月にかけて最も寒くなります。すでにインフルエンザB型の流行が始まっています。感染性胃腸炎など他の感染症も増えてくる可能性があります。手洗いをしっかり行い感染症予防に努めましょう。



もうすぐ節分です！

豆での窒息に注意!!

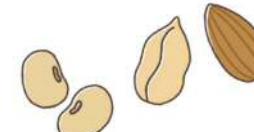


豆まきは楽しい行事ですが、この時期は子どもが豆を気管に詰まらせる事故が起きやすくなるので注意が必要です。豆類は小さくて硬く滑りやすいため、歯が生えそろわらず、噛む力が不十分な子どもはうまくかみ碎けず、気管に入ってしまうことがあります。消費者庁では「硬い豆やナツツ類は5歳以下の子どもには食べさせないで!」と注意喚起しています。加えて、豆まきは個包装されたものを使用するなど工夫して行い、子どもが拾って口に入れないように、後片付けを徹底するようにしています。しかし5歳になったから安心というわけではありません。子どもが豆を食べている間は必ずそばにつき、豆を気管に詰まらせないよう見守る必要があります。

のどや気管に詰まらせた時の症状



- 突然息がききなくなる。
- 急に咳込んだり息が苦しそうになったり、弱々しい咳しかできず、泣き声もか細い状態になる。
- 急に咳込んだ後、咳が続いたり、息をするとのどや胸からゼーザやヒューヒューという音が聞こえたりする。



詰まらせた時の応急手当

- 意識がある場合は「ハイムリック法」、乳児は「背部叩打法」を行います。
- 吐き出したものは、顔を横に向けさせて口を開いてかき出しましょう。



ハイムリック法



乳児
背部叩打法

うつぶせにした乳児を片腕に乗せ、背中を強くたたく

のどや気管に詰まらせたら

- 咳込んでいても、息ができているなら、できるだけ泣かせないようにしながら急いで医療機関を受診しましょう。
 - 豆が詰まって声が出せず窒息しているような状況では、すぐに救急車を呼んで下さい。
- *豆が残っていると肺炎を起こす危険があります。速やかに医療機関を受診しましょう。



-薬の飲ませ方-

シロップ

薄めずにそのまま飲ませます。乳児は必要な量をスプーンやスプイト、おちょこなどに入れましょう。

粉薬

●水で溶く場合

少量の水か、ぬるま湯で薬を溶かします。飲ませる時はスプーンやスプイト、おちょこなどを使いましょう。

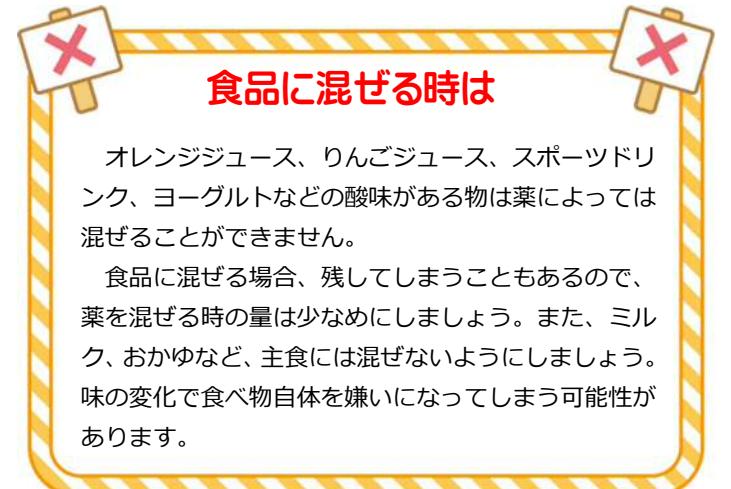
●直接口に入る場合

開いた状態の口の中に直接粉薬を入れます。

●練る場合

小さな器に粉薬を入れ、数滴の水をたらし、だんご状に練ります。練った薬はほぼ内側に塗ります。

どの飲ませ方をした場合も薬を飲んだ後は水や湯冷ましを飲ませましょう。



しもやけ・あかぎれ しっかりケアしましょう # # # #

●しもやけは寒さが原因

しもやけは、手足が冷えて血行が悪くなるために起こります。特に、雪遊びなどで冷たくなれた状態が長時間続いたときに起こりやすいようです。



●お湯で温める

しもやけの部分をぬるま湯につけて血行を良くします。小さな子どもならそのまま入浴させても良いでしょう。また、しもやけ予防のためには、ぬれた手袋や靴下をそのままにせず、乾いたものに替えましょう。



●あかぎれは乾燥が原因

空気が乾燥すると皮膚の潤いも失われます。特に手は外気に触れやすく、手洗いで乾燥しがちです。手の甲がガサガサしたり、ひどいときはひび割れがでて血が出たりします。



●ハンドクリームなどで保湿する

手を洗ったら、あかぎれの治療と予防を兼ねてクリームで保湿します。あかぎれをこすると痛むので、やさしく塗ってあげましょう。



2月の身体測定

17日(火) 0歳児(ひよこ組) 1歳児(桃組)

18日(水) 2歳児(桜組) 3歳児(梅組)

4歳児(竹組) 5歳児(松組)



1月の感染症状況

1/27現在

1月の感染症の発生はありません

